

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	木島平村
------	------

No.	事業項目	事業名
1	木を活かした力強い産業づくり	道の駅ファームス木島平 木製遊具整備事業 (二人用ブランコ・ウッドマウンテン・木製テーブル・イスの導入)
事業費 660,000 円		(うち支援金: 482,000 円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

森林の価値について、当地域材の低価値による関心の低さから、森林のもつ水源涵養性や山地災害防止機能など、森林の持つ重要性が忘れられ、森林の保全が放置されつつある。

(2) 本事業の目的

県産材の良さをアピールし、県産材の普及啓発を促すこと。また、若い地元大工さんの技術向上や新たな分野への挑戦を行う。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 木島平村道の駅ファームス木島平

(2) 対象者 木島平村民及び観光客

(3) 実施方法 備品購入 (二人用ブランコ・ウッドマウンテン・木製テーブル・イスの設置)

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (令和 3 年～令和 5 年)

令和 3 年度 木製遊具整備事業

令和 4 年度以降 未定

②令和 3 年度実績 木製遊具整備事業

(二人用ブランコ・ウッドマウンテン・木製テーブル・イス)



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

地域住民や観光客が、実際に間伐材利用の木製遊具等に触れることで森林整備の必要性や木材の良さ等を実感できる。さらに森林税 PR プレートの設置により、森林税の認知度を上げることができる。村内の森林所有者においては、間伐に対する意識の向上が図られ、間伐実施面積の増加が期待できる。また、若い地元大工さんの技術向上にも繋がる。

(2) 継続性

道の駅ファームス木島平は、そば屋、カフェ、直売所など老若男女、集う公園であり、国道沿いで交通量も多く、あらゆる世代に広く周知できる。

(3) 普及性

駐車場などはアスファルトなどの人工物が目に入ることもあるなか、国道沿いの芝生広場に木製遊具を設置することで、森林整備の必要性や間伐材の利用促進し、地域住民等への森林整備に対する意識の高揚と県産材の利用促進を図る。また、若い地元大工さんが木製遊具を試作し、設置することにより、若者世代が県産材へ興味を持つという、意識付けにも繋がる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

道の駅ファームス木島平は、そば屋、カフェ、直売所など老若男女、集う公園であり、県産材の良さをアピールし、県産材の普及啓発をあらゆる世代に広く周知できた。また、若い地元大工の技術向上、自信にも繋がった。

(2) 課題

森林の価値、県産材の良さをアピールし、県産材の普及啓発を促すには、まだまだ身の回りの県産木材製品は多いとは言えない。今後も県産材の普及を啓発することで、当地域材の価値、森林のもつ水源涵養性や山地災害防止機能など、森林の持つ重要性が理解され、森林の保全が図られる事業を実施しなくてはならない。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

今後も県産材を利用した製品を多くの人が集う場所などに効果的に整備し、県産材の普及啓発に努める。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)